



2005年にローマで発見された
天正遣欧使節の伊東マンショの肖像画

タム大名、大友宗麟が
あるが…。

その点、司祭や修道
女。生き方はその道が
はつきりしてわかりや
すい。だが結婚してい
きること、それが信仰
と思い始めた。

歴史文化博物館で伊東
マンショの肖像画が展
示してあつたので驚い
た。この肖像画は二〇〇
五年、ローマで発見
されて話題となり、私
はローマにあると思つ
ていたが、どうやら高
値で買い求めたらし
い。

この発見には日本人
がかかわったエピソー
ドがあるが、このこと
は後日詳しく書きたい
と思う。

一六一四年に出され
た徳川幕府の禁教令以
降、迫害が激しくな
り、過酷な拷問で大勢
道を歩まねばと思う。

「巡礼の道」の道は
道路の道ではない。生
きる道である。「道」
は人によって異なり、
いろんな生き方があ
る。

最近、キリスト教信
仰も「道」だと思い始
めた。正直に言つて私
の信仰はあやふやであ
る。柳の枝のように揺
れる動く。新しい年を迎
えるにあたり、不動の
信仰をと思いつむが、

なかなか確固たる生き
方ができない。

キリスト教信仰はイ
エス・キリストの教え
に忠実であることと思
つていたが、信仰は教
えではなく、イエスの
生き方、価値観に生き
よう。つまりキリストの
ように生きることでは
あるまい。教えとは

「道」を生きる

（新年を迎えて③）



藤屋 侃士
(下松市幸ヶ丘)

281



天正遣欧使節団の足跡

治めた豊
後で見つ
かれたと
いう古い
木像につ
いて書い
た。今回
は宗麟の
遠縁で天
正遣欧使
節団の四
人の少年
の一人に
選ばれた
伊東マン
ショにつ
いてであ
る。

本来なら偉業を成し
遂げた英雄として日本
でも歓迎されただろ
う。しかし帰国する三
年前の一五八七年、豊
臣秀吉はバテレン(宣
教師)追放令を出し、
キリスト教は禁教とな
っていた。

秀才といわれた原マ
ルチノも司祭となり、
一六一四年、マカオに
追放され、現地で病
死。残る千々石ミゲル
はイエズス会に入る
が、その後脱会し、棄
教したかどうかは不明
である。

秀才といわれた原マ
ルチノも司祭となり、
一六一四年、マカオに
追放され、現地で病
死。残る千々石ミゲル
はイエズス会に入る
が、その後脱会し、棄
教したかどうかは不明
である。

歴史に翻弄された天
正遣欧使節団の四人。
人にはそれぞれいろん
な生き方がある。自分
の道を見つけ、その道
を生きぬくことは簡単
ではないかも知れない。
しかし当時と異な
り、信仰の自由は保障
され、自分の意志で道
を自由に生きることが
できる。

伊東マンショの肖像
画を見ながら、新しい
年の年男にふさわしい
道を歩まねばと思う。